

科目名	☆道の駅でまちの活性化と地方創生を探る ~Want・Doカード調査とビッグデータ活用~		
科目番号	A-14	開設大学名	長崎ウエスレヤン大学
開講場所	長崎ウエスレヤン大学・諫早市周辺 福岡県うきは市	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成30年10月13日(土) ~平成30年11月	曜日	土曜日(他の曜日も一部あり)
		時限	なし
開講時間	10時00分~16時00分	授業定員	20人
		履修年次	1年次以上
実習費等	あり	選考方法	なし
その他特記事項	県外研修・街角実践ワークあり ※別に事前講座講義有り	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
<<開講 10月~11月 10:00~16:00>>		
①	“RESAS” 活用講座 ○10月13日(土) 会場 / 長崎ウエスレヤン大学 <地域経済分析システム (RESAS : リーサス) の活用と実践例について>	
②	先進地視察セミナー ○10月27日(土) 福岡県うきは市 九州一の賑い「うきは道の尾駅」の視察と観光戦略について学ぶ	長崎ウエスレヤン大学 社会福祉学科 (地域連携推進センター) 岩永秀徳
③	実践ワーク ○11月10日(土) 調査など街頭ワークを行う 「wantカード」「Doカード」を活用し、街道調査を行う。2\$祭(大学祭)会場	
④	ポスターセッション (実践発表) 準備 11月下旬 諫早青年会議所主催でのグループ発表 会場/諫早市「文化会館」	
⑤	事前準備のために必要な個人・グループ実践ワーク 自主的開催 (11月で2回程度)	

連絡先	長崎ウエスレヤン大学教育企画課 TEL : 0957-26-8274
<p>(科目内容) 地域経済分析システム (RESAS : リーサス) は、地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するために、まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。このRESAS (リーサス) の活用と、諫早市の様々な角度から街づくりの提案し、新たな観光プログラムを開発、実践し、調査・検証などを行います。その実践ワークを通し、産学官協働 (※ 連携先/ 諫早市・諫早青年会議所) の市民参画型で進めていきます。</p>	

教員のコメント

この授業では、欧米で話題となっている「Want」「Do」カードで市民の意見を集約し、RESASから関連するデータと分析することで、新たな地域創生としての施策提言やソーシャル・アクションに繋がっています。

ここでは、まずは「RESASとは」を初歩から学び、わかりやすく解説しますので、年代関係なく楽しく学ぶことができます。

先進地研修では、経済やまちづくりの創生まで、そのしくみなども分析、研究が可能で、地方創生の実践型が視察でき、「産官+市民」が一体となった産業振興の学びも大きな魅力にもなっているようです。

また、実際に学祭で「Want・Doカード」に書いてもらったり、生の市民の声を集約しRESASと連動・分析することにより「新たな魅力あるまちづくり」を提言→発表の場→ゴール(ポスター・セッション)までいく実践型授業となっています。

ふるって皆さんご参加ください。

